

陽気だより

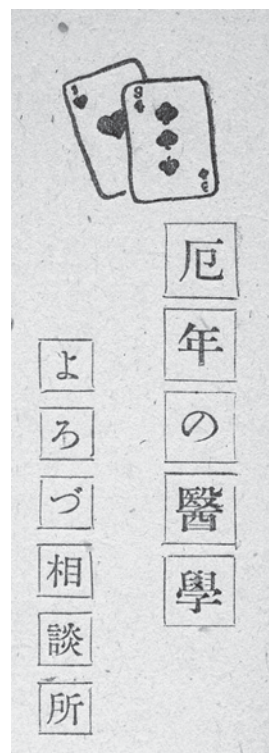
養徳社 検索

ホームページからご覧いただけます

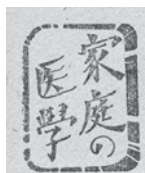
No. 57 2011.12..15

第6号 (24年10月号) から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で62年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。



医学的に人の一生をみると、病気になるやすい年齢と、そうでない時期とがあります。この医学的に危険な年齢と、昔からいう厄年とを比較してみると、五歳くらいまでの乳幼児は天賦の強い生活力がある反面、細菌には極度に抵抗力が弱いものです。ジフテリア菌、エキリ菌、百日咳菌、結核菌等に侵されやすく、またこれらの病原菌のため簡単に死を招くものです。医学的にみればこの年頃は、まさに人生の危機であります。厄年に数えてないのは、まだ一人前の人間とはいえない時期だからかも知れません。



それに反して次の学童期は、一生で一番病気のすく

ない年頃で、ハシカとか食べすぎぐらいの病気にしかかからないのが普通です。生活力は充実し、どんどん成長してゆきます。乳幼児に大敵であった前述の細菌にはもはや免疫ができていますから、恐れることはありません。ところが青春期に入ると、身体の調子にはわかに変ってきて、かなり病魔に見込まれるようになります。この主な原因となるのは、結核です。小児期にうつって潜伏していた結核も、新しく感染した結核も、どちらもこの年齢には発病しやすく、また重くなる傾向があります。新しく出始めた性ホルモンがこのことに関係があると考えられています。女は男より早く青春期に入りますから、女十九歳、男二

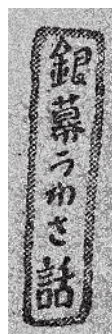
十五歳という厄年の割りあても、医学的にみてあてはまると言えましょう。

この期をすぎると人体は青年期に入り、それぞれ男、あるいは女として着々と成人してゆきます。病気に対しては抵抗力をとりもどしているけれども、実際はこの年齢の人で結核をわずらっている人がかなりあります。これは青年期に蝕まれた結核の引き続きが多いのです。

次に女三十三歳、男四十二歳に厄があるとされています。これは純医学的には説明しにくいようで、この年齢の人が特に病魔に弱いとは言えません。ただ青春期ののはち切れるような元気がこの頃ではかなり衰えてきて、やはり一種の心身の変調、または転換期であることは否めないようであります。

気持ちだけは若いのですが、身体に無理が利いた青年期そのままの調子で生活に無理を重ねると、健康を損ねたりすることが多いと思われまます。その点、医学上からも心理学上からも、一種の危機を孕んだ時期と言えないことはないと思えます。(後略)

お芝居以上



東横撮影所で「忘れられた子等」のフィルムを整理中、機械の過熱のためステージに延焼して危く大事になりかけた事件が最近あった。丁度この日は撮影所が公休で、人手も足りず、折から「こんな女に誰がした」出演の山本薩夫監督や沼崎勲、岸旗江などがおっとりバケツでかけつけて居合わせた所員と協力、手押しポンプをひっぱり出して、シシフンジンの勢いで活躍した結果、見事消しとめた。これを見ていた野次馬の一人。「フーン撮影もここまで真に迫ると本物以上やね」に、又レねずみの連中ぎよつとして「これじゃうっかり火事も出せませんや」とは全くイカレ夕話。

岸旗江(きし・はたえ)

1927年、静岡県生まれ。愛知県の高校卒業後、帝国銀行支店勤務を経て第一期東宝ニューフェイス(同期に三船敏郎、若山セツ子)。代表作は「戦争と平和」「女の一生」など。(ウィキペディアより抜粋)

平成 24 年
春季大祭発刊

「悩み」の今日を「幸せ」の明日へ変えるメッセージ 幸せを呼ぶ言葉

榮嶋憲和著（桃樂分教会会長）

新書判 192 頁・定価 未定

養徳社
天理市川原城町 388
☎(0743)62-4503
http://yotokusha.com/

本席様についての （大江大教会）初代 会長談話筆記

したから、角目だけを心に留めて帰りましたのですが、そのお諭しを以てお助けをさして頂いて居りました。

心それを不足に思い乍ら御指図を仰ぎました。処が神様がお出ましになり、非常なお叱りを受けました。此時の御言葉も角目だけ記憶して居るのですが、大変御言葉荒く

の理を深く悟りをつけさせて貰ひました。そうして心を磨く事に勉強しましたら、身上はすみやかにして頂きました。さて、伊蔵さんと申して居りましたのが、御身上御障りから扇が取れまして、御本席とおなり下されて後、今の御宅に御住居せられる様になりました。

養徳社 よもやま話

○……夕食後、前歯に何か詰まっているので楊枝でむきになって取っていると前歯がぐらついてしまった。翌朝いつものように寝ぼけた顔で菓子パンをパクリ。ガリッ。歯がパンにつき刺さっている。急いで洗面所の鏡を見てにっこり。ぬけた顔がさうにぬけた顔に。皆さん、歯を大切に。

（「大江大教会史」大江九十年の歩み）〈中西金次郎〉初代会長伝より）



「身にさはりついたら結構と思はぬか、神が仕込んでやって居るのや、何で思案せぬ」と、きつく仰せられ、それから御言葉荒ら

「八つの理をよう思案せ、八つの理がすみやか悟りがついたら身がはれる」と、お諭し下されました。この時分は、八つの理も今日の様に委しく説きませず、ほんの

「八つの理をよう思案せ、八つの理がすみやか悟りがついたら身がはれる」と、お諭し下されました。この時分は、八つの理も今日の様に委しく説きませず、ほんの

再版出来！
「陽気」読者講演会CD
うつ病の早期発見
早期治療のコツ
命の“サイン”を見逃さず
“治療”を勧めるために
菅原圭悟（憩の家精神神経科 元部長）
（2010年4月 京都駅近くに
菅原クリニックを開院）
1枚 定価1,260円（税込） 送料150円
電話 0743-62-4503 養徳社 FAX 0743-63-8077

持って居られる扇が、ちゃんと膝へ据はった時に、こちらからお願ひ申し上げます。すると神様がお出まし下されて、だんぐ〜とお諭し下されまして、まだ書取が無い時分

或る時分に、お助けさして貰ふて居乍ら私の身上に日々あちらこちらへ障りがつきまして、辛いものですから、内

角目だけを説いて居りました。此のお諭しから、自分の日々の心使ひを思案して八つ

「悩み」の今日を「幸せ」の明日へ変えるメッセージ

この「陽気だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用ください。お願いします。お願ひ申し上げます。

養徳社